科目名称	成人看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	30
担当教員	上原　茂相	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

成人期は身体的・精神的には安定している時期であるが、社会的には役割が大きく変化し、ストレスによる健康障害を起こし易い。また、生活習慣病を発症し易い時期であり、学習対象となる学生自身もその要因をもっている。そこで、看護の対象のライフサイクルに沿って区分した成人期にある対象と家族の特徴を理解し、成人期にある人への看護のあり方や、健康の保持・増進に必要な援助を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 成人期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。
2. 健康問題を解決するために活用できる中範囲理論を理解し、連続体のどこかにある健康のレベルに応じた看護方法を説明できる。
3. 成人期における健康問題、保健活動の必要性を学び、健康の保持増進を図る~~援助~~方法が理解できる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	成人の特徴と生活	講義・演習
2		
3	成人の特徴と健康問題	演習・DVD
4	成人期の対象への看護アプローチ(1)成人教育（ｱﾝﾄﾞﾗｺﾞｼﾞｰ）	講義・演習
5	成人期の対象への看護アプローチ(2)理論の活用のための事前準備	演習
6	成人期の対象への看護アプローチ(3)ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ	講義・演習
7	成人期の対象への看護アプローチ(4)症状マネジメントの統合的アプローチ	講義・演習
8	成人期の対象への看護アプローチ(5)病みの軌跡モデル	講義・演習
9	成人期の対象への看護アプローチ(6)危機理論	講義・演習
10	成人期の対象への看護アプローチ(7)ｽﾄﾚｽ・ｺｰﾋﾟﾝｸﾞ理論	講義・演習
11	成人期の対象への看護アプローチ(8)自己効力感・保健信念モデル	講義・演習
12	成人期の健康問題と解決方法	講義・演習
13		
14	グループワーク発表会	発表
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験、レポート内容、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

小松浩子：系統看護学講座　専門分野　成人看護学(1)　成人看護学総論(第 16 版) 医学書院　2022
野川道子：看護実践に活かす中範囲理論（第 2 版） メヂカルフレンド社　2021

【7】 参考書

厚生労働統計協会：国民衛生の動向・厚生の指標　増刊・第 68 巻第 9 号　厚生労働統計協会　2021
安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵：ナーシンググラフィカ　成人看護学①　成人看護学概論　メディカ出版　2022
大西和子、藤田佐和：成人看護学　成人看護学概論（第 3 版） ヌーベルヒロカワ　令和 4 年

【8】 受講生へのメッセージ

授業前には、シラバスに明記している各回のテキストを事前学習して授業に臨みましょう。